

施策No.	政策名	市民と行政による豊かな地域の自治づくり	主管課	企画課	主管課長名	柴 保之
106	施策名	広域行政の推進	関係課	秘書広報課、生涯学習課、都市整備課、環境対策課		

1. 施策の目的と成果把握

目的	施策の対象	対象指標名	単位	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	的	他自治体	①地域連携している自治体数	団体	見込値			4	4	4	4	4	4
実績値					4	4	4	4	4	4	4		
			見込値										
			実績値										
相互協力による行政サービスの提供や地域連携が図られる。		①広域の自治体が共同で行っている行政サービスに満足している市民の割合	%	目標値			70.2	77.0	77.0	77.0	77.0	80.0	80.0
				実績値	72.3	76.6	69.4	74.7	73.9	62.0	62.3	66.6	
		②広域の自治体が共同して行っている行政サービス数	件	目標値			9	9	9	9	9	9	9
				実績値	10	10	9	9	9	9	9	9	
		③相互連携している事業数	件	目標値			3	3	3	3	3	3	3
				実績値	3	3	3	3	3	3	3	3	
			目標値										
			実績値										
成果指標設定の考え方	・広域の自治体が共同して行っているサービスに対する成果指標は、①市民の利用満足度及び行政サービスの事業数でみる。(筑西広域市町村圏事務組合:筑西市、結城市、桜川市)(筑北環境衛生組合:笠間市、桜川市)(県西総合病院組合:筑西市、桜川市) ・また、③相互連携している事業数(義士親善、報徳研究会、防災協定数)が維持されれば、相互連携が保たれていると考える。												
成果指標の把握方法と算定式等	・共同処理している行政サービスの数は、消防、救急、ごみ処理、火葬場、遊湯館、県西運動公園、筑西地域職業訓練センター(筑西広域市町村圏事務組合)、し尿処理(筑北環境衛生組合)、病院(県西総合病院組合)(※平成23年度に「福祉センターあまびき」が廃止となった)												

2. 施策の役割分担と状況変化

役割分担	1)住民(事業所、地域、団体)の役割(住民や地域、行政と協働でやるべきこと)	2)行政の役割(市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)
	○筑西広域市町村圏事務組合をはじめ、桜川市が加盟する広域行政組織の運営状況に関心を持つ。 ○周辺自治体の住民と連携し、地域の活性化に努める。 ○友好都市との市民レベルでの文化交流や経済交流に努める。	○筑西広域市町村圏事務組合をはじめ、桜川市が加盟する広域行政組織の運営状況について、適切な情報提供に努める。 ○広域行政組織の運営に積極的に関与する。 ○友好都市との文化交流や経済交流に努める。
状況変化	3)施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は今後どのように変化するか?	4)この施策に対して住民、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	○市町村合併により、広域で実施する事務の形態の見直しが課題となっている。 ○消防の広域連携についても提案されている。 ○福祉センター「あまびき」が平成23年度から廃止された。 ○筑西桜川地域の筑西市民病院、県西総合病院、山王病院の再編統合により、筑西市が新中核病院を整備し、桜川市がさくらがわ地域医療センターを整備することになった。	○市民アンケートの満足度優先度調査から、満足度はかなり高く、優先度は比較的高い位置づけがある。

3. 基本事業の目的と指標

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
① 広域市町村圏事業の推進	一部事務組合	相互協力による行政サービスが提供されている	広域の自治体が共同して行っている行政サービス数	実績値	10	9	9	9	9	9	9.0
				件							
② 他自治体との連携強化	相互連携協定等を結んでいる自治体地域連携をしていない自治体	相互協力により地域連携が図られる。	相互連携している事業数	実績値	3	3	3	3	3	3	3
				団体							
③				実績値							

4. 施策のコストの実績(施策を構成する事務事業シートより積算)

施策のコスト	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績
	①本施策を構成する事務事業の数	件	18	18	15
②施策事業費(一般財源以外)	千円	0	0	0	
③施策事業費(一般財源)	千円	101,244	99,295	101,073	
④施策事業費の計(②+③)	千円	101,244	99,295	101,073	
⑤施策人件費(事務事業の人件費合計)	千円	3,326	1,787	2,487	
⑥計(④+⑤)	千円	104,570	101,082	103,560	

5. 施策に関連する主要事業等

関連する事務事業	区分	事務事業名	摘要
	事務事業		筑西広域市町村圏事務組合参画事業
事務事業		県西地域総合振興協議会参画事業	H28優先度上位

施策番号	106	施策名	広域行政の推進	主管課	企画課
------	-----	-----	---------	-----	-----

6. 施策の成果水準とその背景・要因

1)-①現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した	<input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した	<input type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した	<input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	
背景・要因	<p>・広域の自治体が共同で行っている行政サービスについては、消防、救急、ごみ処理、火葬場、遊湯館、県西運動公園、筑西地域職業訓練センター(筑西広域市町村圏事務組合)、し尿処理(筑北環境衛生組合)、病院(県西総合病院組合)の9事業である。</p> <p>・広域の自治体が共同で行っている行政サービスに満足している市民の割合は、27年度62.3%、28年度66.6%と4.3ポイント上回っている。</p> <p>・満足していない広域行政サービスは、ごみ処理が24年度34.3%、25年度31.9%、26年度23.8%、27年度20.6%、28年度23.8%。救急事業が24年度30.6%、25年度44.6%、26年度37.2%、27年度24.2%、28年度15.4%。火葬場が24年度21.1%、25年度13.6%、26年度13.1%、27年度10.1%、28年度12.2%。消防事業が24年度8.0%、25年度9.9%、26年度6.0%、27年度6.8%、28年度6.0%。レクリエーション施設の運営が26年度53.5%、27年度31.7%、28年度37.9%で最も高くなっている。</p> <p>・相互連携している事業については、義士親善、報徳研究会、防災協定である。</p>		

1)-②成果目標の達成状況

実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った	<input type="checkbox"/> 目標値のすべてが上回った	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った
	<input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった	<input checked="" type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った	<input type="checkbox"/> すべての成果指標で目標値を下回った
背景・要因	<p>・①広域の自治体が共同で行っている行政サービスに満足している市民の割合は、28年度の目標値に対して、13.4ポイント下回った。</p> <p>・②広域の自治体が共同して行っている行政サービス数と③相互連携している事業数については、目標値通りの成果であった。</p>		

2)他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか低いのか、その背景・要因は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 他の自治体よりかなり高い水準である	<input type="checkbox"/> 他の自治体よりどちらかといえば高い水準である	<input checked="" type="checkbox"/> 他の自治体とほぼ同水準である
	<input type="checkbox"/> 他の自治体よりどちらかといえば低い水準である	<input type="checkbox"/> 他の自治体よりかなり低い水準である	
背景・要因	<p>・近隣自治体も、広域自治体で組合を組織しゴミ処理等の事業を行っている。</p> <p>・相互協力による地域連携についても、他自治体と比べほぼ同水準である。</p>		

3)住民の期待水準との比較(住民の期待よりも高い水準なのか、同程度なのか、低いのか)、その他の特徴は?

実績比較	<input type="checkbox"/> 市民の期待よりかなり高い水準である	<input type="checkbox"/> 市民の期待よりどちらかといえば高い水準である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の期待とほぼ同水準である
	<input type="checkbox"/> 市民の期待よりどちらかといえば低い水準である	<input type="checkbox"/> 市民の期待よりかなり低い水準である	
背景・特徴	<p>・市民アンケートについては、「広域行政が行っている行政サービスに満足していますか」の設問に、「満足している」が10.3%、「どちらかと言えば満足している」が56.3%であり、合わせると66.6%となっている。</p> <p>・広報誌等で活動状況の報告が定期的になされており、身近な広域行政として認知されている。</p> <p>・同上の設問で、「あまり満足していない」は22.9%、「満足していない」は3.1%であり、合わせると30.0%で前年度の26.0%に比べ4.0ポイント低下した。その内訳は、昨年度同様、レクリエーション施設の運営・ごみ処理・救急業務が高い割合を示している。</p>		

7. 総合計画後期基本計画(H24~28)の振り返り

区分	これまでの取組成果
施策全体	・市民生活圏の拡大や、市民ニーズの高度化・多様化に広域で連携することで対応してきた。
基本事業	①広域市町村圏事業の推進 ・共同で処理することが効率的な消防・救急業務、火葬場運営・管理業務、ゴミ処理業務等については筑西広域市町村圏事務組合として、桜川市・筑西市・結城市の関係3市が連携して事業に取り組んだ。
	②他自治体との連携強化 ・全国報徳研究市町村協議会における災害応急対策活動の相互応援に関する協定を結ぶなど、文化的交流外にも市町村の連携体制を強化した。